

# 区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(8月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

見直す必要があると考えを伺いたい。答区独自の調査を実施したり、改定検討委員会や議会の意見を踏まえ、ビジョンの検証を行う。

※他の質問項目 家庭や地域との連携

**葛飾区議会公明党**

ユニバーサル社会の実現と元氣な子どもの育つまちづくり

ユニバーサル社会の実現と地域コミュニティのあり方

問ユニバーサル社会の形成のためには、施設の再編だけではなく、地域活動を支える各分野の人材の育成と活用が必要と思うがどうか。

答自治町会などの地域の組織の人材育成を側面から支援していくとともに、生涯学習人材バンクの活用、地区センターなどで活動している方々とのネットワークづくりなど地域を支える人材の育成を積極的に行い、区民の誰もが、地域で生き生きと生活し、活動していけるユニバーサル社会の実現を目指していく。

※他の質問項目 地域コミュニティ施設のバリアフリー化 など

**食育の推進と栄養教諭の活用**

問東京都に働きかけて、小・中学校への栄養教諭の配置を実現し、授業としての「食育」を推進していく必要があると思うがどうか。

答都に対し、来年度には、本区に栄養教諭が配置されるよう、強く要望していくほか、今年度から食育リーダーの指名や食育推進チームを設置しており、今後とも、食育の推進を図っていく。

※他の質問項目 栄養教諭資格を取得するための支援策 など

**子どもを携帯電話による被害から守る施策の推進**

問関係機関が連携して、携帯電話による被害から子どもを守る施策を積極的に進めるべきと思うがどうか。

答警察署と連携して有害サイトへのア

クセスを制限するサービスの普及を進めているほか、学校では情報モラル教育に取り組んでおり、今後も積極的に進めていく。

※他の質問項目 保護者への意識啓発や情報提供 など

元氣な子どもの育つまちの実現のための多世代交流の推進

問地域との連携や多世代交流のメリットを生かした事業を進めていくべきと思うがどうか。

答高校生のボランティアの受け入れや児童の祖父母との交流など、就学前の児童がさまざまな世代との交流を持つ事業を進めているが、今後はこれまで以上に進めていく。

※他の質問項目 子育てひろば事業の推進状況 など

子どもたちが元気に暮らせるかつしかを目指して

**ボール遊びのできる公園**

問昨年の子ども区議会で、ボール遊びができる公園をつくってほしいとの要望が寄せられた。これに応えるために、ケージを公園に設置してはどうか。

答ケージを設置した区を調査した結果設置は、週末に多くの子どもにも活用されている一方、夜間利用の騒音などの管理運営上の課題があった。また、門扉の開閉を行う地元の理解と協力が不可欠であることも再認識した。課題を踏まえ、利用ルールなどを整理し、公園の新設などの際には、メニューとして提案して、理解と協力が得られれば、要望を踏まえたケージを設置するなど、ボール遊びのできる公園づくりを進めていく。

**児童虐待予防と子育て不安解消**

問三重県いなべ市では、行政と家庭とが触れ合う機会をつくることを目的に、「出前ひろば」や「出前テントひろば」などを開設している。本区も、平成23年度に開設する(仮称)子ども総合センターで、同事業など

のきめ細かな取り組みをすべきと思う。見解を伺う。

答子育てひろばは、子育て中の親と子が気軽に集い、相談や情報提供を行う拠点として、家庭をサポートし、親の孤立防止や不安の解消を図っている。ひろば事業は、児童館などで積極的に取り組んでおり、同センターで実施するひろば事業と連携して「出前ひろば」などのきめ細かな取り組みについても、検討していく。

※他の質問項目 いつでも相談できる体制の確立と周知 など

**病児・病後児保育**

問国は、病児・病後児保育の主管を厚生労働省の保育課に統一し、本格的に取り組む姿勢を示した。本区も、この問題に真剣に取り組むべきと思う。見解を伺う。

答病後児保育は、子育て支援行動計画で、平成21年度までに7カ所の施設訪問回数800回を設定している。また、病児保育は、同計画に位置づけてはいるが、今年度利用者などの意見を十分伺い、22年度からスタートする後期子育て支援行動計画に位置づける。

※他の質問項目 病後児保育の受け入れ状況 など

**日本共産党葛飾区議会議員団**

差別医療の後期高齢者医療制度中止・撤回以外に解決策はない

**後期高齢者医療制度**

問後期高齢者医療制度に対して、多くの苦情が寄せられているなか、まだ適切な医療が受けられる制度だと言うのか。撤回以外に解決の道はないと思うが、見解を伺う。

答医療保険制度を将来にわたって持続可能なものにしていくために導入された制度であり、これまでと同様の医療サービスを利用できると考える。

※他の質問項目 資格証明書の発行は絶対しない など

**第四期高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画の見直し**

問国のいなるの参酌標準でなく、特養ホーム、老健施設など区の実情に合わせた計画にすべきである。

答介護保険事業計画における特養ホーム、老健施設などの介護保険サービス基盤整備については、本区の要介護者の人数など対象サービスの種類ごとの量の見込みなどを勘案して計画する。



子育てひろば

※他の質問項目 住民税の年金天引き反対 など

**教育振興ビジョンの見直し**

問学校選択制によって生み出された弊害を解決するために大胆な見直しが必要ではないか。

答それぞれの学校では、保護者や子どもたちから選ばれる学校づくりを目指して、地域の方々と連携し、特色や魅力ある学校づくり、子どもたちの個性や能力を十分に伸ばせる学校づくりに取り組んでいる。今後も円滑な学校選択制に努めていく。

※他の質問項目 クラスの少人数化など

**指定管理者制度**

問シンフォニーヒルズ、テクノプラザ、スポーツセンターの管理運営は、区が直接責任を持つべきではないか。

答各施設における指定管理者制度導入後の管理状況について、各所管部で評価を行い、少しずつ民間活用成果が発揮されてきている。区の直営としていく考えはない。

※他の質問項目 公募時の提案書などの公開 など

**区民の「格差拡大」を是正すること**

問本区では、人材派遣を戸籍住民課や国保年金課の窓口案内など通常業務の代替にしているのではないか。改善するよう求める。

答すべて労働者派遣法に基づいているもので、通常業務の代替として活用しているものではない。

**葛飾区民連合**

公共施設の耐震問題と学齢期の歯科保健衛生指導

問今般の四川大地震の教訓を踏まえて、公共施設の耐震診断・補強は、どのような方針と計画で進めようとしているのか。

答本区では、平成7年の阪神・淡路大震災を教訓に耐震診断の方針を定め、多くの区民が利用する防災上重要な施設の耐震化に取り組んできた。避難所として特に重要な学校施設は、積極的に耐震化を進め、平成20年度には耐震化を完了予定である。学校以外の施設で耐震上問題があると推測される130棟の内30棟は既に耐震性を確保し、残り100棟は24年度までに耐震診断、27年度までに耐震改修を完了する予定である。

※他の質問項目 医療救護体制 など

**ユニバーサル社会における学校施設のあり方**

問学校施設の手すり、スロープ、誰でもトイレなどの設置状況を伺う。

答これまでに、手すりは58カ所、スロープは19カ所、誰でもトイレは22カ所を整備してきた。今後、ユニバーサルデザインの考え方を十分踏まえ、高齢者や障害者にとっても、やさしい施設となるよう整備を進めていきたい。

※他の質問項目 学校施設におけるバリアフリー化 など

**学齢期の歯科保健衛生指導**

問小学一年生という機会をとらえて、子どもとその保護者を含めた歯科保健衛生指導を学校で実施し、家庭における啓発の機会を設けていくことが有効であると考えられるがどうか。

答小学一年生が自ら正しい歯磨きを習得するためには、保護者を含めた啓発の機会を設ける必要がある。親子むし歯予防教室を授業参観日に実施するなど、保護者が参加しやすい環境づくりも大事である。現在、改定作業中の教育振興ビジョンに歯磨き指導を盛り込んでいきたい。

※他の質問項目 歯科保健衛生指導の体制改善 など

**国保年金課窓口**

国保年金課窓口



歯科保健衛生指導